

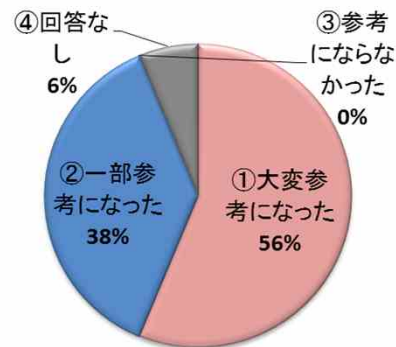
第1回 地域包括ケア事例研究会アンケート集計結果

日程：平成30年3月19日(月) 13時30分～17時00分

会場：さいたま新都心合同庁舎1号館 共用研修室6-A

1. 本日の事例研究会は参考になりましたか。

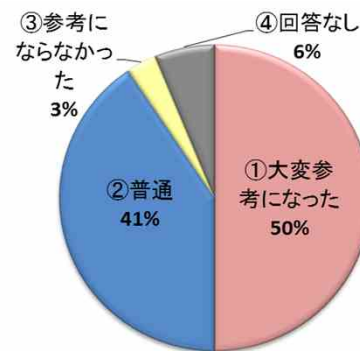
①大変参考になった	②一部参考になった	③参考にならなかった	④回答なし
18	12	0	2



2. 本日のグループワークのご感想をお聞かせ下さい。

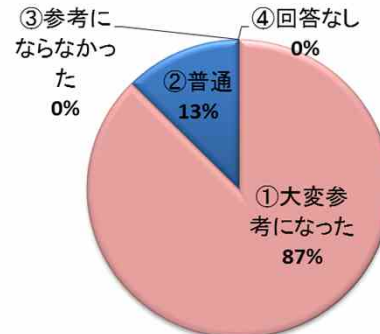
【第一部：総合事業に関する目標設定】

①大変参考になった	②普通	③参考にならなかった	④回答なし
16	13	1	2



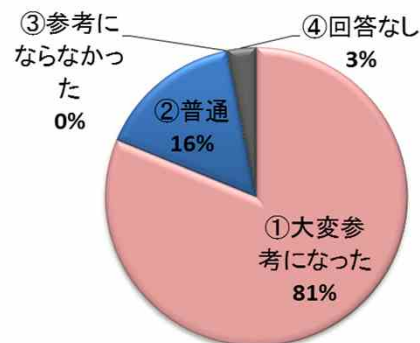
【第二部：協議体と生活支援コーディネーター】

①大変参考になった	②普通	③参考にならなかった	④回答なし
28	4	0	0



【第三部：サービスBの創設】

①大変参考になった	②普通	③参考にならなかった	④回答なし
26	5	0	1



3. 今後、関東信越厚生局では地域包括ケアに関して、自治体を対象とした研究会を実施していこうと考えています。取り上げて欲しいテーマがございましたらご記入下さい。(自由記述のみ)

※自由記述(4)31本

4. 本事例研究会以外に個別に相談したいまたは支援して欲しい事がございましたら、ご記入ください。

※自由記述(5) 6本

1. 本日の事例研究会は参考となりましたか。

1	他の市町村の状況が組込が分かり、参考になりました。
2	他自治体の状況を知ることができたため。
3	他県の取組状況が参考になった。
4	共感できることが多く、また参考となる取組をうかがうことができた。
5	他市町村の取組について、ざっくばらんに意見交換ができた。地域の実状に応じた施策の展開が必要であると感じた。行政説明も非常に分かりやすかった。
6	グループワークの中で色々な自治体の取組状況、考え方を知る事ができ、どうするがよいのか頭の中で迷走していたのが、少し明るくなった気がします。持ち帰り検討したいです。
7	他市の事例や課題を聞くことができ、良かった。柔軟に対応していきたいと思った。
8	他自治体の考え方、戦略、実状が直に聞く事ができた。
9	生活支援コーディネーターだけの研修ではなかなか前進しない面もあり、他市の行政担当者とのよい情報交換ができたと思います。
10	他県の事業の進め方を聞く事ができた。
11	埼玉県だけではなく、他県の状況を聞く事ができ、大変参考となった。
12	様々な市町村の状況を知る事ができた。今回サービス先行型でなかったもので、気持ちの面でも共有できた。
13	他の自治体の状況が分かり、情報交換もできたため。
14	県内の研修とは違った情報が入ってきて有意義でした。
15	課長のアイスブレイクのおかげで、活発に意見がでた。いい話し合い、情報共有になったと思います。迷いながらいい、今やっている方向がどうなのか、考えるよい機会になりました。
16	うまく行かない理由も聞いた。（関係機関の連携など）→自分のところを確認することができた。他にもいろいろ整理ができました。
17	最初は緊迫した会議と思いましたが、とても参考になりました。終わる頃にはもっとみなさんとお話をしたいと思えました。
18	介護予防ケアマネジメントや他事業所の事等もう少し他自治体の話が聞けたら良かったです。
19	ファシリテーターのおかげで、単なる情報交換にとどまらず、議論を深めることができた。

2. 本日のグループワークの感想をお聞かせ下さい。

【第一部 総合事業に関する目標設定】

1	今まで具体的な目標は掲げていなかったが、目標を設定することで協議体の方向性がはっきりし、協議体事態を進めやすくなると感じました。
2	東海村、桐生市。庁内連携は本市でも取組先行で進めているが、協議体を必要と感じており、参考にしたい。
3	町田市のオリンピックマークを活用して町トレをやっているのがおもしろいと思った。
4	庁内の連携が必要だと思ったが、まだ当市ではそこまで考えられてないので、考えたいと思う。
5	庁内の意思統一をはかる体制づくり。総合事業の仕組みをツールとして使う考え方。
6	庁内連携に課題を感じている自治体が多いことが分かった。
7	時間が短かった。
8	時間が少なかったのが残念でした、
9	もう少し話し合いの時間が欲しかったです。
10	担当でないため、少ししかわからなかったです。
11	具体的な目標を聞く事ができたため。

【第二部 協議体と生活支援コーディネーター】

1	他の自治体がどのような方法、メンバーで協議体を行っているのかとても参考になりました。
2	どの自治体もコーディネーターや協議体の運用に苦労していることが分かった。
3	色んなやり方がある。
4	ビックリする展開でしたが、それぞれが抱えた問題を相談し合えて、とても参考になりました。
5	他の自治体の事業の捉え方、考え方を知る事から事業展開の幅を広げていけるヒントを沢山頂けたように思います。もっと時間がほしかったです。
6	自分のところよりも進んでいる自治体の話が聞けた。忙しい毎日で感覚で取り組んでいるところもあるが、他の人に伝えるためには目に見える資料も必要だと思った。
7	焦って協議体と連携しなくてよいと思った。

【第三部 サービスBの創設】

1	他の自治体がB型の創設について、どのように考えているか、また、ボランティアの養成、団体の継続についての課題など聞くことができ、とても参考になりました。
2	B型、一般介護事業、リハをうまく活用して地域に合った形で支援することが大事と思った。
3	必ずしもB型を創設しなくてもよいのではないかと考えている。まずは、一般介護予防事業を広げていくほうがハードルは低いかも・・・
4	B型は本当に必要なのか？一般介護予防事業との住み分けなどよく検討する必要がある。
5	住民活動をしっかり選択されている自治体の方が多く、これから、取り組みたいと思った。
6	B型に固執しなくてよいと、他自治体も考えていることが分かって良かった。一般介護予防事業の充実でよいのではないかと思う。
7	担当でないため、少し分からなかったです。
8	他市の取組状況が分かったため。

3. 今後、関東信越厚生局では地域包括ケアに関して、自治体を対象とした研究会を実施していこうと考えています。取り上げて欲しいテーマがございましたらご記入ください。

1	移動支援、公共交通の発達している都心部ではなく、交通資源の少ない山間部で福祉有償運送やデマンド交通などの様に活用するのがよいか、道路交通法との兼ね合いもあり詳しく知りたい。
2	移動はぜひ。
3	移送について、訪問Dについて。
4	移動手段、協議体の運営方法の事例等
5	総合事業対象者の選定方法について。移送について。
6	移動支援、買い物支援、有償ボランティア、サロン、通いの場、国と地方自治体の意見交換ができる場、機会を増やしてほしい。
7	移送支援等の生活支援の創出の具体例。
8	(地域福祉、障害、子ども、生活困窮もどが主体になるか難しさあり) ①庁内連携(特に部外、都市部、建設部、まちづくり、移動、空き家、住まい)について ②ケアマネジメントの質の向上と評価
9	地域包括ケアシステムと地域共生社会。
10	共生社会を目指した体制を整えていく中で生活支援コーディネーターや社協ももっと知ってもっと学んでもっと磨いていくべきと考えますので、是非行政職員以外にも参加のチャンスを今後も頂きたいです。
11	地域ケア会議。
12	介護予防ケアマネジメント、介護予防地域ケア会議も。
13	介護予防ケアマネジメント。
14	介護予防ケアマネジメントの質
15	介護予防ケアマネジメントと自立支援型地域ケア会議
16	庁内連携の事例を聞きたいです。
17	2層協議体の実態。
18	協議体の効果的な運営手法(地域ケア会議 e t c 既存の会議との連動、住民が主体的に参加するしかけ e t c)
19	一般介護予防、住民主体の活動の導入、後方支援の方法について、今、難局を迎えているから。
20	総合事業のA型を事業所にも対応してもらうためのアプローチや制度の作り方に対して。
21	引き続き生活支援体制整備事業を取り上げてほしいです。
22	生活支援体制整備・・・基盤の事業のため。

4. 本事例研究会以外に、個別に相談したいまたは支援して欲しいことがございましたら、ご記入ください。

1	当町のように小さな自治体は兼務で業務を行うことが多く、一つの事業を専任で行うことが難しい。新しく検討会の場や推進員の配置など求められても、現在いる職員が兼務することが多く、業務量が増えていく一方にある。いろいろな政策は大きな自治体を主に考えられている点が多いと感じており、推進員の配置など人口規模に応じて緩和するようなことを考えていただきたい。
2	大変勉強になりました。ありがとうございました。
3	地域ケア会議の上手な進め方。
4	“まちづくり”紹介は良かったです。
5	色々な形での勉強会を開催して頂ければと思います。
6	協議体の設置に住民の理解が得られない場合等の対応について相談したい。